

新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付について

新型コロナウイルス感染症発生の影響による休業や失業等で、一時的に収入が減少した世帯を対象として、生活福祉資金（特例貸付）の緊急小口資金、総合支援資金【初回】、総合支援資金【再貸付】の受付期間が延長されたことに伴い、申込み受付を令和3年11月末まで実施しています。

なお、詳細につきましては、熊本県社会福祉協議会のホームページをご覧ください、ご不明な点などございましたら下記連絡先までお問い合わせ下さい。

■お問い合わせ先 産山村社会福祉協議会 電話：23-9300

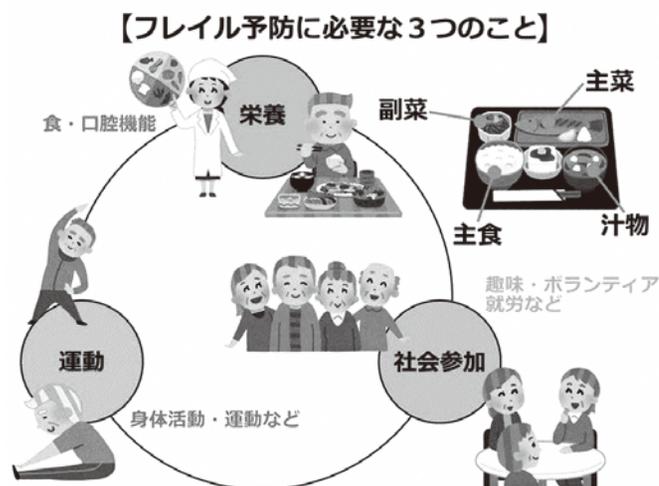
コロナに負けない！～フレイルにならないためには!?～

新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛や三密を控えた生活が長期化しています。村でも、介護予防教室の「かがやき教室」や集いの場でもある「ゴールドクラブ」、「サロン活動」も自粛しているところではあります。

新型コロナ感染症予防のため、外出を控えることにより日中の活動量の低下や人との交流が減り、フレイル（虚弱）になることが懸念されています。フレイル予防には、「運動」、「栄養」、「社会参加」の3つの柱が必要です。

フレイルに早期に気づき予防することで健康な状態に改善することができますので、一度チェックしてみてください。

→<次ページ参照>



社会福祉協議会では、阿蘇温泉病院リハビリセンターの理学療法士である林寿恵氏と連携し、テレビ電話（お知らせ端末）を活用したオンラインによる介護予防支援を行っています。対象者の生活する上での困りごとや心配事などを家族等と確認し、自宅でも簡単にできる体操・筋トレや手遊びなどの認知機能低下を予防する運動を実施しています。

フレイルチェックで該当した方など心配な方は、お気軽にご相談ください。

運動器具（ステッパー：足踏み運動、フィットネスバイク：ペダリング運動）も貸し出していますので、連絡をお待ちしています。



自宅でできる運動を実践中!



ステッパー



フィットネスバイク



社協だより

令和3年
第326号

発行者
産山村
社会福祉協議会
☎23-9300

ふれあいで、育てよう
ふくしの心